



教育民生常任委員会

教育民生常任委員会には、条例改正議案3件、21年度一般会計補正予算(第2号)、21年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の5議案と陳情2件が付託された。

■仙北市デイサービスセンター条例制定(全部改正)

田沢湖デイサービスセンター(神代字野中清水)に、指定管理者制度を導入する為の改正。管理委



指定管理者指定になる田沢湖デイサービスセンター

託料は市から払わず0円になる。委託期間は5年間にするもの。

問 今まで社会福祉協議会に委託していたようだが額はいくらか。

答 平成20年度の委託料は2,766万2千円である。介護保険事業を行う利用料金が、全て指定管理者の収入になり、市から新たな持ち出しはない。

問 内容的にこれまでと同じだと思うがサービス

面で今のレベルより下がることはないのか。

答 サービスの料金体系は法的に定められている。現在社会福祉協議会では6〜8人で運営している。現在の料金体系で行けば現在のサービス内容は充分確保される。

問 市としてサービス内容についていつの時点であるのか。

答 12月に翌年度の事業計画を出してもらい、会計年度終了後、事業実績報告を義務付けている。業務内容、サービス内容の確認は定期的にできる。

■病院事業条例の一部改正

説明 市立角館総合病院の一般病床を246床から238床に精神病床を100床から80床に改める。

人口の推移、患者の動態、職員数などから将来の適正な病床数を検討している。昨年の委員会で病院建設計画の構想を示したが240〜250床が適当と報告している。



教育民生常任委員会審査風景

それにあわせて段階的に見直しをするものである。

問 病院改革計画(市立田沢湖病院、市立角館病院を含めた市立病院等改革計画)の中身に影響はあるか。

答 市立病院等改革計画の中で角館総合病院は適正な病床数を検討するとしている。病床数が減ることによって収益が減ることはない。

問 病床減による財政的な関りはないとの事だが医師数との関係はどうな

るか。

答 今回346床から318床に変更したいが医師や看護師数は変わらない。目標の240床になった場合、医師数は変わらないが看護師、検査技師、職員等は現在より縮小されると思う。

平成21年度一般会計補正予算(第2号)

教育費

問 奨学金の滞納額が増えている。大学4年を終わって次に大学院に行

く。しかし卒業してもすぐには就職出来なくて返済できない人が相当いると思われる。返済方法の見直しが必要ではないか。

答 借りた学生は卒業後10年で返すことになっている。4年間で192万円借りられるので1年で19万2,000円の返済になる。実際はかなり厳しいと思う。何年も音信不通の人や自己破産した人もいる。ただ税金等の公債権と違い、私債権と区別され、不能欠損処理が簡単に出来ない。私債権の管理条例を設けている自治体も増えている。仙北市も検討中である。

陳情

採択

◎「物価に見合う年金の引き上げ」の意見書の採択を求める陳情

継続

◎後期高齢者医療保険証の取り上げ禁止と保険料減免に関する陳情書

○広域連合に秋田県全市町村が加入しているので県の統一見解を待ため継続